

卓 話

● 圓尾美佳会員

「第7波コロナ奮闘と医療 ICT にふれて」



ラゲプリオカプセル200mg (一般名：モルヌピラビル) **MSD**



2.17cm

* モルヌピラビル 主な処方対象

- ・ 61歳以上
- ・ 活動性の癌 (免疫抑制又は高い死亡率を伴わない癌は除く)
- ・ 慢性腎臓病
- ・ 慢性閉塞性肺疾患
- ・ 肥満 (BMI 30kg/m² 以上)
- ・ 重篤な心疾患 (心不全、冠動脈疾患又は心筋症)
- ・ 糖尿病
- ・ **ダウン症**
- ・ 脳神経疾患 (多発性硬化症、ハンチントン病、重症筋無力症等)
- ・ コントロール不良のHIV感染症及びAIDS#
- ・ 肝硬変等の重度の肝臓疾患
- ・ **臓器移植、骨髄移植、幹細胞移植後**

* **薬効**→ウイルスRNAに取り込まれてエラーを起こし、ウイルスの増殖を抑制させる

* ポイント

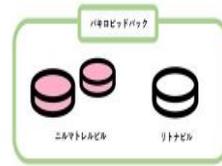
- ・ 発症から五日以内に服用
- ・ 1回4カプセル800mgを1日2回 5日間服用主な副作用温疹
- ・ 18歳未満には投与できない。
- ・ 投与禁忌は、妊婦又は妊娠している可能性のある女性

パキロビッドバック(一般名：ニルマトレルビル錠/リトナビル錠) **ファイザー**

パキロビッド→ウイルスRNAのたんぱく合成を阻害
ラゲプリオ→ウイルスRNAの複製を阻害
と阻害内容は少し異なりますが、

ラゲプリオと同じ第7波の変異株に有効で、そして重症化を防ぐ効果はより高いとされています。
ラゲプリオ：**30%**
パキロビッドバック：**89%**

パキロビッドは、ニルマトレルビルを300mg (150mgを2錠)とリトナビル100mg (1錠)を5日間服用します



ラゲプリオとの大きな違い

- ・ 妊婦に投与可能
- ・ バック製剤である
- ・ 腎機能症患者で減量が必要
- ・ 12歳から投与できる (体重40kg以上)
- ・ 有効率が高いが「併用禁忌、注意」が多いことから使いにくい難点がある

安定供給の問題が難しくラゲプリオのように、一般流通が難しく、まだ扱いは、対応薬局限られている。

8月4日～抗原検査キット無料配布開始 (神戸市など)

* **目的**
医療機関の受診を減らすため

感染者急増により発熱外来、救急外来がひっ迫する中、重症化リスクのある方の受診を最優先とするために、重症化リスクの低い若年の方には無料の検査キットによる検査実施し、医療機関での受診を控えていただく

* **対象**
(神戸市在住の) 基礎疾患等がない6歳～59歳の方で (途中拡大)、発熱・咳・のどの痛み等の新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方

少し変わりました

- ・ ラゲプリオ錠9月16日から一般流通を開始することが決まった。(どの薬局でも取り扱いできる) 8月18日に薬価収載された。
- ラゲプリオ200mg1カプセル2357.80円 40錠で94312円
- ・ 医師から陽性の行政への報告は重症患者のみ。
- ・ 公費対応継続、隔離、自宅届け郵送のまま

2類から5類へはまだ問題が・・・

感染症の分類と措置

(感染症法に基づく)

		入院勧告	就業制限	医療費
1類	エボラ出血熱など	○	○	公費
2類	結核 SARSなど 新型コロナ	○	○	公費
3類	コレラなど	×	○	一部自己負担 (医療保険適用)
4類	狂犬病など	×	×	一部自己負担 (医療保険適用)
5類	季節性 インフルエンザなど	×	×	一部自己負担 (医療保険適用)

■ 全感染者の把握は不要 ■ 一般の医療機関でも治療可

医療ICT

ICT（情報通信技術）は、PC、スマートフォンなどコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称です。ICTはIT（情報技術）にコミュニケーションの要素を含めたものです。

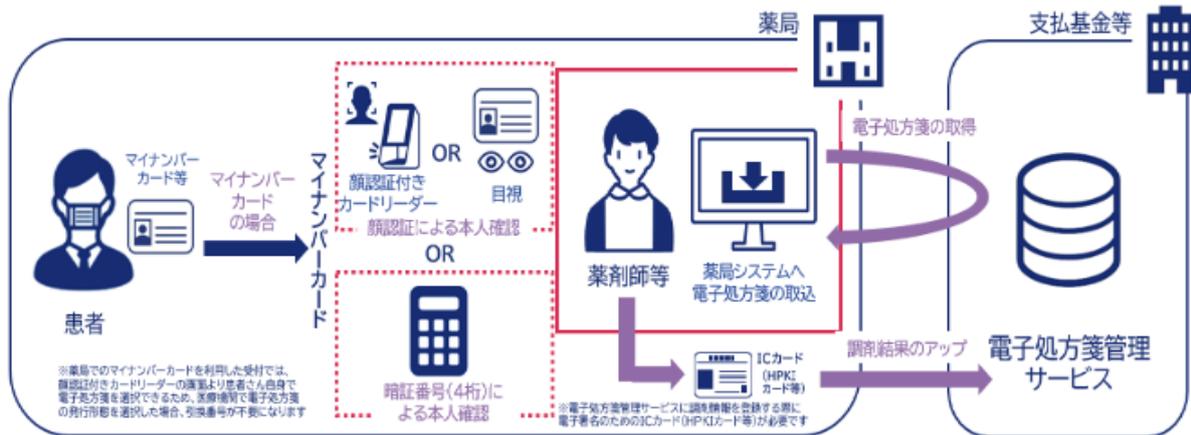
コロナ禍が拍車をかけ、様々なICT化の計画で未来の医療は変化していきます。

オンライン化は、長寿社会での医療費増大、医療従事者不足などの問題解決するため、データの共有で地域市民を見守るシステムと考えています。

デジタル庁設立から1年

マイナンバーカード、マイナーポータル（マイナンバーカードを使った様々な手続き）、健康保険証（2024年まで）、顔認証カードリーダー、

電子処方箋（2023年～）、健康管理サービス



最後に、コロナ奮闘は大変でしたが、新しい取り組みができ、困っている方に言葉をかけることができた感動が残ります。

ICT化は、顔を見て、感情を見て寄り添う医療の形をどう守るかが課題だと、効率化は計れて便利にはなるが、失われるものも大きいのではないのだろうか。